

住宅用火災警報器の維持管理

「いざ」というときに住宅用火災警報器がきちんと作動するよう、日頃から点検とお手入れをしておきましょう。

お手入れ方法

住宅用火災警報器にホコリが付くと、

火災の煙を感知しにくくなります。

定期的に乾いた布でふき取りましょう。

台所に取り付けた住宅用火災警報器は、

油や煙などにより汚れが付くことがあります。

家庭用中性洗剤を浸して十分しぼった布で軽く

ふき取って下さい。



点検しましょう

定期的に、住宅用火災警報器が正常に作動するかテストしましょう

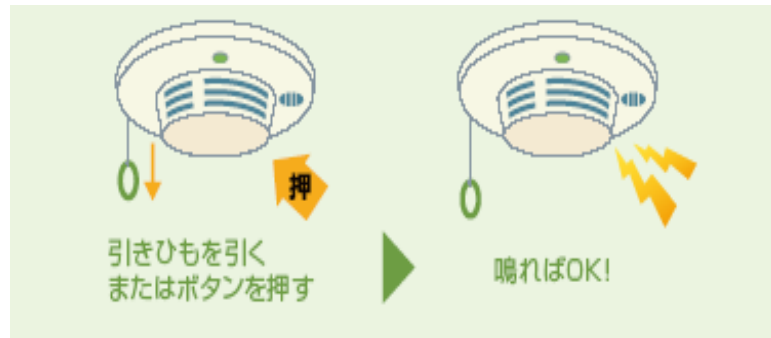
また、次のときは必ず作動テストをして下さい。

- ・初めて住宅用火災警報器を設置したとき
- ・設置場所を変えたとき
- ・長い間留守にしたとき
- ・故障や電池切れの疑いがあるとき



テストの方法

テストボタンを押す、または、ひもを引くなどメーカー・機種によって異なります。取扱説明書をご確認下さい。



音が鳴らない・・・？

- ・電池はきちんとセットされていますか？
- ・電池は切れていませんか？
- ・再度ボタンを押すか、ひもを引いて下さい。それでも鳴らないときは、故障や電池切れが考えられます。取扱説明書をご確認下さい。

火災以外で鳴った場合

- ・たばこの煙、調理中の湯気や煙などを感知して、警報が鳴ることがあります。警報音停止ボタンを押す(ひもがついているタイプのものは、ひもを引く)か、室内の換気をするとう警報音は止まり通常の状態に戻ります。
- ・電池切れは注意音、音声で知らせます。電池を新しいものに交換して下さい。機器ごと交換する機種は、新しい警報器に交換して下さい。
- ・故障は警報音と警報ランプで知らせます。メーカー・機種でも異なりますので取扱説明書でご確認下さい。